



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2014～2015 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「心に響き 心に残り そして心が熱くなる」

◆会長 永家 将嗣 ◆幹事 高原 清人 ◆会報委員長 岩垣津 亘 ◆会報担当 岩本 正樹

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1041 回	55 名	54 名	41 名	—	75.92%
前々回 1039 回	55 名	54 名	46 名	2 名	92.59%

<点 鐘> 会長 永家 将嗣

<四つのテスト>

<本日のビジター>

高山市海外戦略室部長 田中 明 様
国際青少年交換留学生
ヴィクトリア・アン・マチセン さん

<会長の時間> 会長 永家 将嗣

皆さんこんにちは、4月に入り温かさも感じ桜前線のニュースを見るたびに、いよいよ春が来た実感します。またこの季節は花粉症の人にはつらい時期になりますのでマスクなどで防御して頂きたいと思ひます。さてまた会員さんの入院のお知らせをしなければなりません。新宮一郎さんがスキーに行っていて頸椎の骨折で岐阜病院に入院されました。携帯電話の使用もできないようで連絡は息子さんのほうに下さいとのこと。詳しい状況は分かりません。もう少し時間が経ってから連絡を取りお見舞いに行ってきたいと思ひますので様態が分かり次第皆様にご報告します。



今月の 19 日に地区研修協議会がございました。この地区研修協議会が終わると実質的にいよいよ次年度のスタートとなります。地区研修協議会とは地区内すべてのクラブの次期会長、幹事、理事、主要委員会の委員長など、重要な次期クラブ指導者たちが集まる知識・情報交換の場です。通常は、各クラブから 10 人前後の出席となります。そして協議会プログラム全般の責任はガバナーエレクトですが、計画と実施については、バスターガバナーである地区研修リーダーが責任を負うとされています。内容は次期会長・幹事や各委員会に分かれて研修を受けます。委員会の方は各地区委員会委員長が責任を持って研修を行います。

協議会の主目的は、3 点にまとめられます。①会員の維持・増強、②地域社会で、その地域の実情に即したプロジェクトを実行し成功できるように、③プログラムへの参加と寄付金を通じ、ロータリー財団を支援すること、この 3

点について、ロータリークラブの指導者たちに、必要とされる能力を育成し、知識をもち、やる気を起こすように図ることです。

大切なことは、PETS も地区協議会も、次年度クラブ会長になる人の参加が、義務づけられていることです。もし、出席しなければ、その人はクラブ会長に就任することができません。このシステムは、ちょうど、ガバナーエレクトが国際協議会に出席しないと、次年度ガバナーにはなれない、というのと同じであることに、セミナーの重要性が表れています。

ロータリーでは、会長以下各担当者が、R I、地区、クラブにおいて、基本的に毎年替わります。人は毎年替わっても、ロータリーの基本的な考え方は変わるものではありません。また、活動の中には単年度ではなく、何年もかけて完成するものもあります。しかし、いずれの活動も人から人への手渡しで、バトンタッチされていくものです。新しい年度にクラブを指導する人々が、ロータリーの基本、ならびに新年度の R I 会長やガバナーの方針をよく理解し、それを各クラブにもち帰って、クラブの仲間たちに伝え、共有する。さらに、各クラブの事情も考えながら活動に結びつけていく。出席者は大切なその橋渡し役です。この地区協議会は、単なる研修会ではありません。ロータリーの奉仕のプロジェクトについて、新しい考えを入れながら、永遠に続く継続性をもたせるために行われる、大切な会合なのです。参加される皆様はこのことを十分に理解してご参加ください。

<幹事報告>

幹事 高原 清人

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

・ガバナーノミニージェグネット決定の連絡

氏名 田山 雅敏 (たやま まさとし)

上野東 RC 所属

・財団室ニュース 3 月号・4 月号

・ラックメイツ第 3 号 (R I D2630 ローターアクト)

○可児ロータリークラブより

・創立 40 周年記念式典出席のお礼

○米山梅吉記念館より

・館報 No25

<会報>

・高山 RC ・可茂 RC

＜本日のプログラム＞

＜広報/雑誌/IT委員会＞ 高木 委員長



＜卓話＞

高山市海外戦略室 担当部長 田中 明 様

プロフィール

田中 明 (たなか あきら)

昭和 36 年生まれ。

大学を卒業後、商社に勤務し、貿易を担当

在学中にはデンマーク政府の奨学金を受けてコペンハーゲン大学に留学

昭和 62 年高山市役所入所後、16 年間国際部門を担当。以後、教育委員会、久々野支所次長、地域振興室長、地域政策課長を経て、平成 23 年 4 月より海外戦略室担当部長

平成 27 年 4 月よりブランド・海外戦略部長

『テーマ：高山市海外戦略ビジョン』

～高山市の海外戦略への取組み姿勢～

高山市への外国人観光客の入込状況は、平成 26 年(1月～12月)の宿泊者ベースで 28 万人となり、過去最高を記録しました。これは高山市の人口の 3 倍以上の数となり、そのような地域は日本広しと言えども他に



ないのではないかと思います。なお、昨年(2023年)の日本への外国人の入込は 1 千 3 百万人を超えています、日本の人口の 2 倍にはほど遠い数字です。

この数字からも、いかに多くの外国人の方が高山にお越しにいただいているかお分かりになるかと思います。

よく他の自治体の方々から、高山市にはなぜこのように沢山の外国人が訪れるのか尋ねられますが、その際に必ず言わせていただくのは、高山市は約 30 年近く取組みを行っており、自治体だけではなく、受入体制の整備など民間の方々が一生涯懸命におもてなしの気持ちを持って取り組んで来られた結果であるということです。

現在、日本は急激な少子高齢化、人口減少や、好転する兆しは見られるようになったとはいえ、これまでの長期に渡る不況による経済活動の低迷など厳しい状況に直面しているのに加え、情報、金融、物流などの分野においてグローバル化の波が押し寄せてきており、それは高山市においても同様です。

そうした経済や社会の変化にいち早く対応するためにも、それまで観光、商工、農政、国際交流などの分野でそれぞれに取り組んでいたものに横軸を通し、総合的に海外に向けた施策を推進することを目的として、平成 23 年

4 月、市の行政組織内に海外戦略室を設置し、今年 4 月にはブランド・海外戦略部となり、ブランド戦略課、海外戦略課、東京事務所が新たに配置となりました。

私どもでは大切にしたい事柄があります。それは、「自らの価値に気付き、それをより高める」という基本姿勢で、「歴史、伝統、文化、価値観、風習、生活様式、商習慣などの違いが大きい海外と交流することは、地域の魅力や価値を再認識するとともに、よりそれらを高めていくきっかけとなることから、外国人観光客誘致、地場産品の海外への販売促進、人や文化の交流といったそれぞれの分野においてより一層海外とのつながりを深め、高山市の伝統・芸術文化や地場産品の価値を向上させる。」というものです。文化などが大きく異なる海外の方々と接することによって、改めて自らの財産の価値を見つめ直し、市長が常々言っていることでもありますが、私たちの有形無形の財産について「守るべきものは守り、高めるべきものは高める」ことを促すための取り組みをしたいと考えています。

海外戦略室やブランド・海外戦略部の設置は市長が断行しました。その背景としては、市外から外貨をできるだけ沢山稼ぎ、稼いだ外貨をいかに市民サービスに充てるかという市長の思いがあります。

そのような中で、私たち市役所の事業部署は、市民サービスに必要な財源を確保するため、市内の事業者への支援をとおして、経済を活性化させるという役割を担っており、その役割を果たすには、誘客促進にしても、物販支援にしても、海外や国内を問わず、いかに外からの外貨を稼げるかということが一つの大きな鍵であると考えています。

また、現在は日本政府観光局(JNTO)の本部に 1 名、香港とパリ事務所にそれぞれ 1 名、日本貿易振興機構(JETRO)の本部に 1 名の計 4 名を戦略派遣職員として派遣しています。東京事務所には管理職を当て、東京を拠点とした国内外をターゲットに高山をセールスしています。

さらに付け加えれば、私たちの日々の仕事が、海外活動とは一見関係の内容に思える、例えば小中学校の児童や生徒、過疎に苦しんでいるおばあちゃんやおじいちゃん、毎日汗して働いている親、試行錯誤しながら一生懸命に子育てをしている母親、時には自分の時間を削ってでも様々な文化・域活動をしている人々の生活にどう繋がっているのかを常に想像して仕事をすることを意識し、また職員とは自分たちがいることの証を残せるような取り組みをしようと日々激励しあっています。

市長による積極的な国内外でのトップセールスとそのフォローアップ、国や地域のニーズに沿った誘客パンフレットの一斉、誘客と物販を組み合わせた取り組みの強化、Wi-Fi 環境の整備に加えて SNS を活用した情報発信、来てもらって消費してもらうための仕組みの構築、実質的な広域連携を实践するために他の地域や自治体の観光資源の積極的な PR など、微力ではありますがこれまでにない取り組みを進めつつあります。

＜新会員推奨者の認証＞

新会員を推薦しその後入会に至った場合、
推薦者に送られるものです



島 良明・新井 信秀・長瀬 栄二郎

< 4 月のお祝い >

< 会員誕生日 >

松之木映一	S 2 5 年	4 月	7 日
劔田 廣喜	S 2 4 年	4 月	1 8 日
大原 誠	S 3 0 年	4 月	1 8 日
鶯塚 英雄	S 2 9 年	4 月	2 6 日



< 結婚記念日 >

下田 徳彦	H 1 1 年	4 月	4 日
清水 幸平	S 5 6 年	4 月	5 日
坂家 賢司	S 6 0 年	4 月	5 日
岩本 正樹	S 6 1 年	4 月	6 日
橋本 修	S 4 9 年	4 月	7 日
中田 学	H 4 年	4 月	1 1 日
富士井忠男	S 4 3 年	4 月	2 0 日

< 夫人誕生日 >

西倉 良介	淳子	4 月	8 日
-------	----	-----	-----

おめでとうございます

< ニコニコBOX >

高山市海外戦略室担当部長の田中明様のご来訪を歓迎申し上げます。間もなく桜が咲く頃かと思いますが、また寒さが戻って来るようですので、高山祭りには桜は咲かないようです。
理事役員一同

高山市海外戦略室担当部長の田中明様のご来訪を歓迎申し上げます。卓話を楽しみにしています。今日は日本語でよろしくお願いします。私の教育委員会時が思い出されます。
平林 英一

本日は市内の全小学校で入学式が開催され、私は栃尾小学校へお祝いに出掛けますので例会を欠席させていただきます。代わりに、今年度から立ち上がったブランド・海外戦略部の田中部長が得意の英語ではなく、皆さんの為に日本語で熱い話をしますので聞いてやってください。
西倉 良介

4/1 よりヴィクトリアさんが我が家にまたやって来ました。長い間、足立さんにはホストファミリーをやって頂きお疲れ様でした。また、本日は、広報雑誌 IT 委員会担当例会です。講師の田中様よろしく申し上げます。
高木 純

田中明様のご来訪を歓迎申し上げます。また、先週は妻の誕生日にきれいな花を頂きありがとうございました。
新井 信秀

先日は妻の誕生日にきれいなお花を頂きありがとうございました。また、次女に長男が生まれ 4 人のジイジになりました。感謝をこめてニコニコへ。
永家 将嗣

ロータリーの友の 17 ページにかつての記事 (写真) が載せられました。
三枝 祥一

正樹ちゃん、専太郎さん土曜日はありがとうございました。
周 信夫